

研究課題名	Dat Scan 検査における MRI 検査との比較検討
本研究の目的	<p>核医学検査の DaT Scan は脳内の黒質線条体ドパミントランスポータを画像化する検査で、パーキンソン症候群やレビー小体型認知症の診断の早期診断や鑑別診断に役立つ検査である。2025年3月に DaTView の更新が行われ、Ver.1.5 がリリースされた。Ver.1.5 では解剖学的標準化機能が搭載され、患者ごとに行う標準脳テンプレートの探索を左右に分けて実施するようになった。また、線条体を尾状核・被殻に分けて後頭葉と比較したカウント比の値を算出できるようになった。</p> <p>この機能の結果は研究段階でありまだエビデンスが出されていない。よって今回この機能を研究することにより新たな診断基準ができる可能性がある。</p> <p>そこで今回、その特徴を調べ、当院における新たな診断基準を検討することで、当院の医師、地域連携の医師や患者様により安心して安全な画像情報を含めた診療情報を提供することを目標としています。</p>
研究期間	倫理審査委員会承認後～ 2027年 03月 31日
調査データ該当期間	2023年 04月 12日～ 2026年 03月 31日
研究の方法	<p>●対象 2023年4月1日から2026年3月31日の連続した期間に、認知症鑑別診断で DatScan 及び MRI 検査した患者 100 症例</p> <p>●用いる試料・情報 上記データを認知症の鑑別の補助ソフトである画像統計解析ソフト DatView で解析したデータ、神経心理学的検査である MMSE のデータ、MRI 統計解析画像データを使用</p>
お問い合わせ先	<p>電話：0944-58-1122 (代表)</p> <p>研究責任者：木須康太 (放射線科)</p>